研究所だより

地域づくりの幅広さ

本12号では「地域づくりの『道具』」と題して、様々な地域づくりの技術、アイディア、話題のトピックなどを束ねてみました。地域をつくっていくには、そこに係る方々の「情熱」に加えて、法制度や会計等の知識から個別事業のマーケティング等に至るまで、様々な知見が必要と思われます。今号ではそれら各論を「道具」と位置づけ、制度論のようなやや固いものから、軽い読み物風のものまで、バラエティに富んだラインナップとしてみました。中心市街地活性化法など各種法改正、金銭面での支援施策、人材育成、産業振興、観光…まだまだ書きたいテーマは数多くあったのですが、紙面が尽きてしまい、別の号に稿を譲ることにいたしました。

地域づくりとは一言でくくれるものではなく、地域の抱える課題も同一ではありません。様々な「道具」を組み合わせて課題を解決していく、このような幅広さ、奥深さ、多様さこそが、地域づくりの本質ではないかと思われます。

私どもは様々な角度から「地域づくり」を考えております。本 号でその一片でもご紹介できたならば幸甚です。

編集者から

価値総研はパブリックコンサルティング部門とマネジメントコンサルティング部門を有しております。機関誌の特性上、これまでは前者に関するテーマのご紹介が多かったのですが、本号では「トピックス」として、マネジメントコンサルティング部門から1テーマ掲載してみました。

官公庁への政策提言と、企業への経営コンサルティングは、一見とても遠いものに思えますが、現場を知ることで地に足のついた政策提言が可能となり、また政策を熟知することで民間へのコンサルティングにも深みが増します。

官民双方の知見が必要な PPP 型のビジネスや、分野間の業際性の高いテーマも増えております。価値総研は、これからも官民双方を睨みながら、幅広い分野に柔軟に対応してまいります。

06号目次

- 〒-₹1 新たな政策立案の潮流(3)-原点を見据える
- **テ-**マ2 コーポレートガバナンス
- テ-マ3 非営利法人のガバナンス
- テーマ4 国家のガバナンス
- テ-マ5 ハウジング・アフォーダビリティー 指標の算出
- 〒-₹6 循環型社会形成に向けたエココミュニティー事業
- テ-マア リバースモゲージの現状と今後の展開について
- 〒-78 知的資本経営
- 〒-₹9 米国の水素ハイウエイ構想と自治体への期待
- テーマ10 路地裏感覚でみた中国経済_

07号目次

- 〒-マ1 新たな政策立案の潮流(4)-都市 国土を 図る」-
- 〒-₹2 都市 国土政策の展開方向-都市 国土のはかり方-
- 〒-₹3 都市 国土政策分析評価モデル-都市 国土の定量的な分析 予測モデル
- テーマ4 都市の構造分析:コンパクトシティ
- デーマ5 都市 国土における圏域分析の手法-客観的、定量的な分析手法とその 活用可能性-
- テーマ6 検証:広域連携拠点都市
- 〒-マ7 国土構造(a system of cities)の分析 評価-首都機能移転-
- テーマ8 アメリカ経済の拭えない不安

08号目次

- テ-マ1 新たな政策立案の潮流 (5)-住宅の政策の行方
- テ-マ2 住宅政策の転換期を迎えて-住宅基本法の構築と住宅価値の形成-
- 〒-₹3 公的住宅のマネジメントハウジング・アフォーダビリティ指標の活用-
- テ-マ4 住宅政策のキーポイント「居住と福祉」
- 〒-75 住宅金融を取り巻<課題-住宅金融制度の再編成に向けて-
- **〒-76** 知的財産権による資金調達の新展開
- テーマ7 金融危機の決算

09号目次

- 〒-マ1 新たな政策立案の潮流 6)-バリューアップの都市政策
- **テーマ2** 地区計画による制限が資産価格に与える効果
- **〒-**₹3 中央省庁における市民参加型の政策形成
- テーマ4 シティセールスの現状と課題
- テーマ5 Webによる ライブズ・ナビ」と地域密着の 地域情報センター Jによる 融合ビジネスモデル
- テーマ6 ライフスタイル中心市街地
- テーマア 都心オフィスマーケット オフィスを取り巻く環境-
- テーマ8 製造業の強さの源・熟練工の存在

10号目次

- テ-マ1 シニアビジネスマーケットの変化
- テーマ2 アクティブシニアの生涯学習ニーズ
- 〒-₹3 団塊世代の地方回帰
- 〒-₹4 アクティブシニアの高齢者住宅の探し方
- テーマ5 有料老人ホームの運営事情
- ァ-76 ウェルネス・ビジネスの可能性
- テ-マ7 何故、中韓で反日運動が強いのか

11号目次

- テーマ 1 各国の住宅手当制度の比較
- 〒-₹2 新たな展開を見せるリバースモーゲージ
- テ-マ3 市民マラソンを通じた地域·産業振興
- 〒-74 立場による異なる視点
- 〒-₹5 我が国における研究開発投資の動向 (その 1)
- テ-76 国際秩序を揺り動かす中国